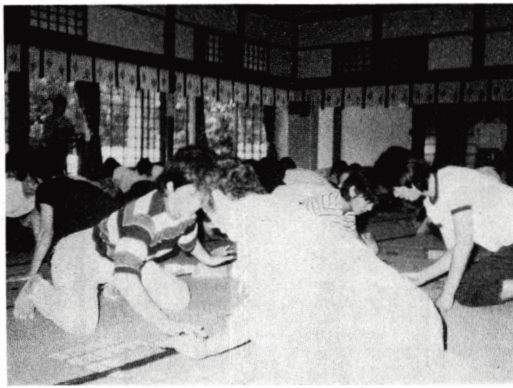


第九回 宗像大社 小倉百人一首かるた大会



梅雨入りはしたものの好天が続いた。六月九日・十六日の二日に亘り、第九回宗像大社小倉百人一首かるた大会(主催：宗像大社、協力：九州かるた協会、後援：玄海町教育委員会、全日本かるた協会、なにわがた会、福岡東ロータリークラブ等)が、当大社儀式殿・斎館・清明殿の三会場で於て盛大に開催された。

この大会は、日本文化の伝統護持・青少年の情操教育の一環として始められたもので、我国古来の文化である和歌の心を認識していただき、情緒豊かな日本人となつていただくことを、又子々孫々まで我が国の文化を愛していくことを目的として毎年行つてゐる。

この大会も年を追うごとに盛大になり、参加選手は九州各県を始め、遠くは東京や奈良県から、又その年令層も幼稚園児から八十才のおばあちゃんまでと幅広い出場者で、約四百名を数

- えた。更にこの大会で成長した古賀町出身の北野律子さん(沖繩県在住)が昨年全日本のクイーン栄冠を勝ち取る等、九州のかるた競技の技術向上も目覚ましく、各クラスに於て熱戦が繰り広げられ、数分の一秒を競う選手達の妙技に、観戦者は驚嘆の様子だった。
- 尚、各クラスの成績は次の通りである。
- △A級(三段以上)
 - 優勝 鶴田 究(鹿児島県)
 - 二位 伊藤 裕之(宮崎県)
 - 三位 杉松 由紀(鹿児島県)
 - 〃 藤田 明子(山口県)
 - △B級(初二・二段)
 - 優勝 吉見 聡子(鹿児島)
 - 〃 野見山 恵(筑紫女学園高)
 - 三位 善明・清美(福岡中)
 - 〃 丸田 久美(奈良文)

- △C級
 - 優勝 安藤真一郎(鹿児島)
 - 二位 田口 茂夫(九州大)
 - 三位 居倉 昭彦(九州大)
 - 〃 上原 正義(九州大)
 - 〃 西田ちよせ(行橋市)
- △D級(一般の部)
 - 優勝 中島 洋子(宗像市)
 - 二位 池田 雅子(行橋市)
 - 三位 椎葉美代子(入吉市)
- △高校の部
 - 優勝 大坪 伸子(筑紫女)
 - 二位 中津 有美(宗像高)
 - 三位 郷 春菜(福岡高)
 - 〃 小川 優子(福岡高)
- △中学三年の部
 - 優勝 桑島 美和(筑紫女)
 - 二位 中山 郁子(筑紫女)
 - 三位 山下 美樹(時津中)
 - 〃 中牟田佳英(筑紫女)
- △中学二年の部
 - 優勝 中津 明子(中央中)
 - 二位 下村 裕子(日新中)
 - 三位 前田佐知子(時津中)
 - 〃 兵頭 勝美(吉塚中)
- △小学一年の部
 - 優勝 前田奈々緒(日の里)
 - 二位 小林 玲子(日の里)
 - 三位 京谷 芳弘(古賀北)
 - 〃 角 春恵(吉塚中)
- △小学六年の部
 - 優勝 脇田さおり(美和台)
 - 二位 吉志実希子(日の里)
 - 三位 谷口 敬一(原田小)
 - 〃 井上 亮子(日の里)



当大社責任役員に 永倉三郎氏就任 (九州電力会長)

三井鉱山顧問相談役であつた、倉田興人氏には、当社責任役員として四年間御尽力をたゞていただきました。去る三月二十日、老衰の為に永眠されました。

その後任として、現在九州電力会長、又九州、山口経済連合会の会長として御活躍中の永倉三郎氏が、五月十日当社責任役員に就任されました。

当日、責任役員会議に先立ち、午前十一時より本殿に於て、永倉三郎氏宗像大社責任役員就任奉告祭が、吉本弘次氏外責任役員参列のもと斎行された。

永倉氏は、明治四十三年佐賀生まれ、旧制佐賀中、佐賀高を経て昭和九年東大経済学部卒、同年九州電力の前身、東邦電力へ、四十九年九州電力社長、五十八年六月から会長、五十九年五月に九州、山口経済

連合会副会長、六十年五月二十三日、三代目の会長に選ばれた。その他にも役員が百以上あり、超「多忙」の日々である。

その職務のスケジュールの中、たまの休日は、自宅の茶室にてお茶を楽しむ。気が充実のひとときを過ぎる。他にも絵画、刀、陶器、彫刻の趣味を持たれてこられた。

現在、自伝風の記録を執筆中である。ビルマ戦線等の七年半に及ぶ戦争体験、これを基に半世紀を超えてきた電氣事業とかかわりをつづる。自伝の題名は「無我の人生」と、すでに決つてゐる。

戦時中に作詞された「想い出の街」は戦友の作曲家鈴木道明氏によって作曲され、八代亜紀の歌でレコードになつてゐる。

敬神の念厚い氏の就任に於て、当大社の聖なる運営と神徳の発揚が一層期待されることであり、又九州地域発展の為、「九州は一つ」の理念のもと益々の御活躍をお願い申し上げる次第である。

- △小学五年の部
 - 優勝 松本 美加(美和台)
 - 二位 笠崎美名子(木山小)
 - 三位 安武 聡子(美和台)
 - 〃 椎葉 裕之(東間小)
 - △小学三・四年の部
 - 優勝 五島彩也子(美和台)
 - 二位 松本 真美(美和台)
 - 三位 川口美代子(美和台)
 - 〃 徳久 涼子(美和台)
 - △小学二年以下の部
 - 優勝 島田 雅子(美和台)
 - 二位 真弓 千寿(入吉幼)
 - 三位 富田 悦子(須恵小)
 - 〃 石黒 勇気(東間小)
 - △E級
 - 入賞 安藤 清光(鶴田小)
 - 〃 後藤恵穂美(鶴田小)
 - 〃 深町 千恵(鶴田小)
 - 〃 田山 悦子(鶴田小)
 - 〃 木蓮矢子(日の里東小)

第二八八回 宗像大社歌会詠草 中村 吾郎 選

大島 大島 勝代 賑わえる門前町の軒端より 胸ひるがえし燕とび立つ (評)「軒端より」が効果的な故に、燕の胸の白さが鮮明に浮かぶ。中心となるべきものに感を集中。

原 町 中村 幸 黒の子の移動と見つけ公園の草取る人ら立つことなき (評)生活感、草を取る人らと共に作者の側にもある。真実に寄るものは地か足音を離してはなるまい。

大島 屋形とみえ 二十年住むもなき山小屋の屋根つきぬけて笥のたつ (評)努力しても推敲の過程で息切れる事があるがこの歌の場合、詰句の「たつ」に於てその感がある。

田 熊 今村 重刀 から梅雨に夕べは早く葉をとさし合歡の花群ほのかに咲けり

深 田 中野 節子 えら押しへ滑(ぬめ)りの強き鱗刺さるが釣り来し 勝浦のべら

大島 中村さつき 朝陽に抜き捨てられし大根のなほ咲きつきて初夏の陽を浴む

自由ヶ丘 後藤君代 歌集抄講義聴きあてじき父の声のごとくに思ふをりふ

武 丸 立石ろせ乃 葉と同じ緑に咲きしクリスマスローズ緑の花粉しきりに寄す

曲 天野トモエ かね生ふ鶴の実生平鉢に寄せ種なして昔をあしらふ

吉 留 白木うめ 流氷の個所に泥よせず備出を植つるに雨後の日の差し来たる

夕園の小路を照らす街灯にほのかな温み感じつつすく 大島 板矢あきえ 雨ひに重き荷運びし日もありぬ老いわれ手提の一つ重たし

通り堂 木梨よしの 大鷲は鳥舎いっばいに羽根ひろげ威嚇するが目玉動かす

原 町 八波 五月 不遇なりといくさの日日を思ひつつ夏咲き秋咲きの花の種詩く

日 清原 絹代 自らはおよそ思はぬ年齢を指摘されおれ老人会に

福 間 広渡一寿軒 苗の伸び見に行くらしき中風の脚もどかしき友の姿見

田 久 立花 勇雄 高野山並立つ巨杉の幹腰に奉納の賽銭水洩れ陽に光る

宮 田 片山 朔子 挿木して育てしつきが次々に競うがに咲けり白にピントに

田 熊 力丸 一郎 ゴンドラで恐は八十五米筑波博に登高と乗る

池 田 永富 森 山里の部落をぬけて狹まる徑を来つれば滝の音する

徳 重 石松や寿子 新緑の庭にさかりの花つじ父祖の遺影に窓を明けや

東 郷 藤崎 辰子 光りつつ溶けはじめたる今朝の露草のなかり小鳥が立ちぬ

池 田 小田 イセ それぞれに成人したる吾の子の生活(たつき)を思ふ

香 榎 桜井 ツ子 象牙色の眩しき空に雲雀あがり丘畑沿ひの風寒きかな

八幡西 山田 耕夕 さびしきは妻にも言はずの四年病みまきはす歌を詠みきぬ

暑中御見舞申し上げます

<p>西 日 本 銀 行</p> <p>自由ヶ丘支店</p> <p>支店長 国崎 規志</p> <p>宗像市自由ヶ丘二丁目七十七</p> <p>TEL 〇九四一三三三二一五</p>	<p>福 岡 銀 行</p> <p>赤 間 支 店</p> <p>支店長 平塚 武義</p> <p>宗像市大字土穴三八八一</p> <p>TEL 〇九四一三三三二二一</p>	<p>宗 像 支 店</p> <p>支店長 倉重 文夫</p> <p>宗像市大字東郷九一八一</p> <p>TEL 〇九四一三六二二〇一七</p>	<p>福 岡 支 店</p> <p>支店長 竹内 玄也</p> <p>福岡町二七二六一五</p> <p>TEL 〇九四一四二二二四六</p>	<p>福 岡 支 店</p> <p>支店長 崎田 博隆</p> <p>福岡町大和町二七三八一〇</p> <p>TEL 〇九四一四二二二二二</p>
---	--	--	---	--

「風景入通信日付印」出来る

大島・神湊・大社前三局に

大島、神湊、大社前郵便局風景入通信日付印が出来た。このスタンプはかねてより大社前郵便局の吉武弘道局長より大社前郵便局に相談があったもので、吉武局長は、大社の神宝・神賑行事を圖案化し、大島、神湊、大社前それぞれの局で大社シリーズとして作成したので圖案を考へては



【授与品紹介】

身体用御守 00

◆ 錦守小袋 (にしきまもりこぶくろ)

今回は、当大社に於いて授与する御守の中から、一般的にどの社におもて授与している錦守小袋を紹介致します。

この錦守小袋は、古くより神社の御守として用いられており、一般的に肌守として馴染まれております。その造りはタテ七、ヨコ五cmの長方形で、金糸で織り上げた布地に朱糸と緑糸で柄の葉を織り込み表面中央に白糸で「宗像大社御守護」の文字を刺繍した二種類がございます。裏面は中央に当大社の社紋を一つ刺繍いたしてあります。



現在当大社で授与しております守札の中は、最もオーソドックスな御守であります。錦守小袋の初穂料は左記の通りです。 一体 六〇〇円也

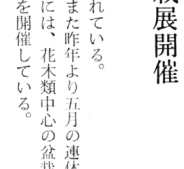
※お車の交通安全祈願祭と

この原因を基に郵政省で再考され、このほど各局に許可されたものである。これらの日付印は各局の窓口で、ハガキ又は四〇〇円以上の郵便物に申出れば付印してくれる。マニヤにも人気があり利用者から喜ばれているとの事である。大社もピーアールの一端を担う事が出来た。

第二回宗像大社 春季奉納盆栽展開催

五月三日から六日まで四日間、第二回宗像大社春季奉納盆栽展が開かれた。これは、宗像地区の愛好家が結成された宗像大社奉納盆栽会の会員が、参拝者の多い連休時に所蔵の盆栽を展示し、参拝者の方々に盆栽に対する理解を深め、鑑賞してもらおうと、恒例の秋の展示会とは別に、昨年より開かれていた。フジ、ツツジ等の花木類を中心に三十四席が展示され、比較的好人にも恵まれた。多くの参拝者で賑わった。

盆栽展に先立って、三月二十二日の役員会において、「盆栽会の基礎を固め、後進に道を譲りたい」との意向で、石松会長が勇退された。



この間、石松会長は職身的に会費展覧の為、御奉仕されてこられた。今後は、一會員、一氏子として尽力していきたいと述べられている。

氏子評議員会開催

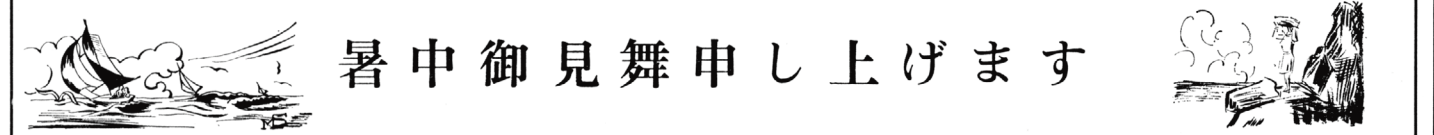
去る六月二十九日午前十一時から当大社清明殿に於いて、昭和六十年度の夏の大会式、夏越祭、人形祓ま袋に配布並取まめ方依頼等に付いて氏子評議員会を開催し、種々検討審議された。当日は梅雨の中、山本氏会長以下三十九名の評議員並に南次郎市議会議長、神社側から葦津宮司

以下七名の職員が出席、定刻通り開催された。藤井副会長の開会の辞に始まり、全員で国歌斉唱、神宮並皇居参拝、敬神生活の綱領唱和、山本氏会長、長挨拶、葦津宮司挨拶、南次郎市議議長挨拶があり、終幕奉納について、前日までの経過報告が行われ、終始、前向きな活発な意見の交換があり、拝殿幕を氏子総代会で奉納する事に決定し、当日の議題をすべて終了した。

会議終了後、場所を斎館に移し直会に入り、和やかな雰囲気の中に午後二時過ぎ散会した。

社務日誌抄

- 六月一日 月次祭 愛知県津島神社宮司以下十三名参拝
六月四日 出光トーカー 春田氏来社
六月五日 江島神社六名参拝
六月六日 文部省県教育課 長遠山氏外七名来社
六月七日 津島市観光協会丹下氏来社
六月八日 若木合郷土史探訪会五十名来社 神宝館参拝
六月九日 楠木神社二十名参拝
六月十日 陸上自衛隊第四師団三等陸佐日高孝行氏参拝
六月十一日 小田原市報徳二宮神社宮司草山朝子氏参拝
六月十二日 横須賀市春日神社様互今村照美氏参拝
六月十三日 福岡食糧事務所業務部長脇山氏外六名参拝
六月十五日 月次祭
六月十七日 ユニオン石油



福岡相互銀行 日の里支店 支店長 加来正孝 宗像市日の里一丁目二九一八 TEL 0940-336167

正金相互銀行 自由ヶ丘支店 支店長 上田泰璋 宗像市自由ヶ丘五十九七五二一 TEL 0940-331331

宗像農業協同組合 組合長理事 川端寿治 宗像市大字東郷六七一〇 TEL 0940-336141

福岡県中央信用組合 宗像支店 副理事長 高橋信種 宗像市大字東郷九四四一四 TEL 0940-336125

